

麻布小学校卒業メディアアーティスト

落合陽一講演会

本講演では、「デジタル」をテーマに、私自身が学生時代に抱いていた未来へのまなざしや、研究・創作活動を通じて得てきた経験をもとに、これからの時代を生きる子どもたちに必要な視座についてお話します。

母校の創立150周年という節目にあたり、「伝統」「国際理解」「平和」といった価値が、デジタル技術によってどのように更新され、次世代に手渡されていくのか。同窓生としての思いとともに、未来を構想する力の重要性について考察を深めます。

2025年9月20日(土)13:00～14:00

終演後に懇親会を予定しています

麻布小学校体育館

知ること・つくること・つなぐこと

デジタルと共に生きる未来



©mitsutoshi waranabe

Yoichi Ochiai

メディアアーティスト。1987年生まれ、2010年ごろより作家活動を始める。境界領域における物化や変換、質量への憧憬をモチーフに作品を展開。筑波大学准教授、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）テーマ事業プロデューサー。写真集「質量への憧憬（amana・2019）」NFT作品「Re-Digitalization of Waves（foundation・2021）」など。2016年Prix Ars Electronica 栄誉賞、EUよりSTARTS Prize 受賞、2019 SXSW Creative Experience ARROW Awards 受賞。Apollo Magazine 40 UNDER 40 ART and TECH、Asia Digital Art Award 優秀賞、文化庁メディア芸術祭アート部門審査委員会推薦作品多数。

先着100名

対象

- ・在校生保護者
- ・13～22歳 麻布小学校卒業生
- ・落合陽一さん同級生

（在校生5、6年生が授業の一環として参加します）

こちらのフォームからお申し込みください

